

第 196 回 競技委員会 議事録

1. 日 時 : 2008 年 12 月 3 日 (水) 18 時 00 分 ~ 20 時 15 分
2. 会 場 : 連盟本部事務局
3. 出席委員 : 清水康裕委員長、平田眞、寺本直志、斉藤千鶴乃、西田奈津子、
田中陵華、仲村篤志、佐々部君敏、山菅昭夫、古田一雄
以下委任状 : 林伸之、大政哲人
才バ : 大政哲人
委員総数 11、定足数 8、出席 11 (内委任状 4) で成立。
4. 議事の経過及び結果 : 清水康裕委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号 議案 各小委員会報告

- コンベンション小委員会(9月17日)の議事に関して再確認がされた。
・ 文部科学大臣杯と東スイス予選のコンベンションリストを「D」に引き上げないこと。理由(1)ショートスイス戦では対戦相手の負担が重い。(2)シードポイントによるフライト分けが無い。
- ・ 高島屋 S C 杯とモンタルト杯のコンベンションリストを「D」に引き上げないこと。理由(1)今年度からのコンベンションリスト改正に適用は対象競技会の見直しをはかったばかりである。(2)リスト D の「マイケルズキュービッド」をリスト A に引き下げないこと。リスト A の全面改定は競技会主催者からの要望が無いので見送ること。

第 2 号 議案 文部科学大臣杯のフライト制限について

- 「B : Δ 1000、C : Δ 1000 女性、D : Δ 300」とすることで合意した。「地方会議(第 194 回 競技委員会 議事録 参照)」での提案に基づく。対案は「B : Δ 750、C : Δ 750、D : 無し」であった。地方からの意見聴取では、 Δ 300 フライトの新設に賛同が多かった。関東予選の B 以下のフライトは参加者の負担を軽くするため、2 日間の日程で開催することで合意した。試合形式は事務局案を作成し、メールにて提出することとした。

第 3 号 議案 JCBL HAND BOOK の表記について

- P123、MP 規則の年間獲得ポイントの国際競技会に、トランスナショナルオープンチーム、トランスナショナルミクストチーム、世界ユースチーム選手権、世界ユース選手権、世界大学選手権を加えることとした。
- P68、コンベンションリスト C、オープンニングビッド 1 について表記の再考が求められた。コンベンション小委員会において検討することとなった。

第 4 号 議案 その他議案

- 増田道子氏からの質問に関して(第 195 回 競技委員会 議事録 参照)清水委員長が対応し、ご理解いただいたことが報告された。
- シニアボウルのマスターポイントについて
現行の WBF マスターポイントから JCBL マスターポイントへの換算率には問題が無いことが確認された。大会予選の成績に対してマスターポイントが発行されないことに問題が提起された。
- 理事会で於ける「喫煙および電子機器の使用に関する故意の再犯と、ディレクター侮辱のペナルティに関する質問」に関して「ディレクター侮辱罪」という項目はブリッジの規則には無い。第 74 条「振る舞いとエチケット」、第 90 条「手順上のペナルティ」などの条項が該当する。故意の再犯に対しては第 72 条「一般原則」に「ペナルティを受け入れる意志があっても故意に違反をしてはならない」とある。これに従い、ディレクターが状況に応じて、手順上のペナルティまたは規律違反罰則を与える。以上は現行の諸規則規定に明記されている。
- 高橋克己氏から提案されたスコアの計算方法について
改め提案して頂くこととした。
1+1 セッションのセクショナルペア戦について
認可条件は現行通り、二日間の地方リジョナルにおける前日の競技会とすることが再確認された。
- ナショナル競技会の日程について
文部科学大臣杯全国大会は会場の都合で日程変更は容易ではないことが説明された。従って、PABF 競技会との重複は変更を試みるが、ACBL 競技会との重複はやむを得ないことで合意された。

次回競技委員会は 1 月 29 日 (木) 18 時 00 分からの開催を予定する。
次々回競技委員会は 3 月 4 日 (水) 18 時 00 分からの開催を予定する。

以上